

## ●ナロキソン

実施内容	胸部ステントグラフト術後対麻痺が疑われる患者に対してナロキシソンの持続投与を行います。
対象患者	胸部ステントグラフト術後対麻痺が疑われる患者、診断された患者
承認日	2024年9月3日
実施期間	3日間程度
添付文書記載 (抜粋)	効能又は効果 麻薬による呼吸抑制ならびに覚醒遅延の改善  用法及び用量 ナロキソン塩酸塩として、通常成人1回0.2mgを静脈内注射する。 効果不十分の場合、さらに2~3分間隔で0.2mgを1~2回追加投与する。 なお、患者の状態に応じて適宜増減する。
目的・概要	胸部ステントグラフト術後の対麻痺は、ステントグラフトにより肋間動脈が閉塞する影響で脊髄虚血が生じている状況です。 ナロキソンは麻薬拮抗薬ですが、内因性オピオイドに対しての拮抗作用から脊髄の血流改善の効果が報告されています。本症例においても脊髄血流を改善させるべく、ナロキソンを使用したいと考えております。
予想される 不利益と対策	血圧上昇、頻脈、振戦、嘔気・嘔吐などが副作用として報告されているため注意して経過観察を行います。 上記症状が出現した場合には速やかに投与の中止を行い対症療法を施行します。
問い合わせ先	東京慈恵会医科大学附属柏病院 外科 TEL：04-7164-1111（代表）戸谷 直樹

2024.9.2 作成